

3月の保育 ○ねらいと担任の思い

< 4歳児 りす組 >

園庭には梅やアズキの花が咲き、ビオトープではカエルが卵を産む様子が見られ、身近な自然から春の訪れが感じられるようになりました。いよいよ、りす組として過ごす最後の1ヶ月が始まります。少しずつ自分たちの進級を意識して生活する姿が見られるようになってきたとともに、年長組との別れが近付いていることが分かり寂しさを感じている姿もあります。残り少ない日々ですが、一緒に生活することを十分に楽しみながら、感謝の気持ちをもって関わられるようにしていきます。

進級に向け、年長組から引き継いだ当番活動や誕生会の司会を年少組だけで行ったり、年少組が計画や準備を進めてお別れ会を開いたりするなど、これから学年で活動を進める機会が増えていきます。年長組にしてもらってきたことや教わったことを思い出して、できることに自分から取り組んだり、自分たちだけでもできた！という達成感を味わったりしながら、自信を積み重ね、進級への期待を膨らませていけるようにします。

学期末には、遊びや行事の楽しかった思い出を振り返ったり、これまでに作った作品を整理したりしながら一年間を振り返り、心も体も大きくたくましく育ったこと、様々なことに意欲的に取り組めるようになってきたことなど、一人ひとりの成長をみんなで喜び合えるようにしていきます。

○友達と関わり合いながら自分たちで遊びや活動を進めていく楽しさを感じたり、やり遂げた満足感を味わったりする。(お別れ会の準備、誕生会の司会など)

○年長組になることへの期待をもって生活する中で、自分で考えて動いたり、身の回りのことやできることに自分から取り組んだりする。

○栽培物の生長や園内の自然から季節の変化に気付き、春の自然に興味や関心をもつ。

< 5歳児 はと組 >

いよいよ3月を迎え、幼稚園生活もあとわずかとなりました。雛人形製作では、本物の人形をよく見ながら着物の重ねや細かなパーツなどを、和紙や紐などの素材を使って、自分なりに本物らしく丁寧に作っています。

修了に向けての活動では自分たちがいろいろな人と関わり、経験をする中で大きくなったことや感謝の気持ちをもって参加できるようにしていきます。年少児に当番活動や誕生会の司会や準備などを一緒に動きながら伝えたり、ペースに合わせて教えてあげようとしたりしながら、園生活で大切な活動やリーダーとしての仕事を引き継いできました。異年齢の関わりが深まった一年間、自分たちの成長を大いに実感する機会にもなりました。

先日、近隣の保育園の年長組と一緒に本村小学校一年生による体験授業や展覧会鑑賞を経験して、就学への期待が高まっています。就学に向けて生活習慣などを子どもたちと見直していきます。また、就学への期待とともに緊張や不安も入り混じる時期です。揺れ動く心に寄り添いながら、一生懸命活動に取り組む姿を支え、一人一人が自分に自信をもって修了できるように支えていきます。

好きな遊びやこれまで楽しんできた遊びを学級の仲間と存分に楽しみ、大好きな仲間とのつながりを感じながら残り少ない幼稚園生活の一日一日が充実したものとなるようにしていきたいと思っています。

○日や週の生活や幼稚園修了までの見通しをもって友達と遊びや生活を進める楽しさや充実感を味わい、就学に期待をもつ。

○友達とのつながりの中で互いのよさを認め合ったり、成長を喜び合ったりしながら友達と過ごす心地よさを感じる。

○身近な自然の変化に気付き、春の訪れを感じる。